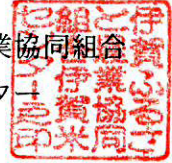


令和5年3月16日

株式会社あじみ屋 御中

伊賀ふるさと農業協同組合
伊賀米センター



使用原料証明書

御社へ納入している精米（コシヒカリ）は、一般財団法人日本穀物検定協会の食味ランキングにおいて「特A」の評価を得た玄米を、伊賀米センター施設で精米製造したものであることを証明いたします。

記

1. 使用原料

生産地: 三重県産 伊賀米 10割 使用

三重県産伊賀米コシヒカリ 4年産 10割

検査登録機関: 伊賀ふるさと農業協同組合

※食味ランキングに関しては、一般財団法人日本穀物検定協会のHPをご覧ください。

以上

は伊賀、名
招待する。
ページから

上野運動公園競技場（小田
町）で大和シルフィードと
対戦する。午前十一時～午
後四時に、競技場周辺でマ
ルシエも開催する。
（瀬里崎蒼馬）

伊賀米コシヒカリ「特A」

22年産米ランキング

伊賀地域で栽培された伊賀米コシヒカリが、日本穀物検定協会による二〇二二年産米の食味ランキングで最高評価の特Aを獲得した。県内産では唯一の選出。一九九九年産以降、上から二番目のAが続いたが、四

年ぶりに返り咲いた。

食味ランキングは、良質な米作りと消費拡大を目的に同協会が毎年発表。食味試験を行い、五段階で評価する。二二年産米は全国百五十二銘柄のうち四十銘柄が特Aに選ばれた。

伊賀地域では、一九九六年に伊賀、名張両市、現J



4年ぶりの特A獲得を喜び、伊賀米振興協議会の関係者＝伊賀市平野西町の「とれたて市 ひざっこ」で

一ホームも
賞の「く
ににした柄
きをかけ
で、パン
ひもは、
組みひも
時から、

Aいがふるさとなどが中心となり、伊賀米振興協議会を設立。近年は、高温障害などに負けない土作りや、生産者に対するLINE（ライン）での栽培技術の発信などに取り組み、品質や食味向上に努めてきた。

協議会生産部会長の岡田知也さんは「地道な取り組みの成果があらわれ、うれしく思う」と喜んだ。JAの直売所「とれたて市 ひざっこ」（平野西町）には特A獲得を知らせる看板が飾られた。（新居真由香）

伊賀市へ1000万円寄付 信金中央金庫に感謝状



神野名古屋支店長◎に感謝状を
手渡す岡本市長＝伊賀市役所で

企業版ふるさと納税制度を活用し、伊賀市に一千万円を寄付した信金中央金庫（東京）に、同市が感謝状を贈った。市内での起業や事業者の事業改善を支援する起業・事業承継促進事業補助金に充てる。

同金庫は創立七十周年を記念し、二〇二〇年度から

二二年度にかけて、各地の信用金庫から推薦を受けた自治体などの地域創生事業に寄付を行う「SCBふるさと応援団」を実施している。市は二二年度、北伊勢上野信用金庫（四日市市）の推薦を受けて申請し、寄付先の一つに選ばれた。
先月二十八日、伊賀市役